

令和8年6月29日
福島県会津農林事務所 農業振興普及部
(TEL 0242-29-5307)
JA会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 気象概況及び予報

表1 令和8年6月の気象概況

月	半旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)	本年	平年	平年比 (%)
6	1	20.2	19	1.2	25.2	25.2	0.0	16	13.6	2.4	19.5	8.6	226.7	10.5	34	30.9
	2	19.6	19.7	-0.1	25.3	25.6	-0.3	15.8	14.7	1.1	16.5	10.3	160.2	27.1	31.3	86.6
	3	20.3	20.3	0.0	27.1	25.8	1.3	14.1	15.7	-1.6	3	13.6	22.1	43.6	28.1	155.2
	4	23.4	20.8	2.6	29.8	26.0	3.8	17.8	16.4	1.4	4	18.0	22.2	43.2	25	172.8
	5	20.7	21.3	-0.6	25.1	26.3	-1.2	17.1	17.2	-0.1	44	24.5	179.6	17.3	22.7	76.2
平均・合計		20.8	20.2	0.6	26.5	25.8	0.7	16.2	15.5	0.6	87.0	75.0	116.0	141.7	141.1	100.4

会津若松市の令和8年6月の1～5半旬の平均気温は20.8℃で、ほぼ平年並に推移しました。降水量は87.0mm（平年比116%）で、期間の前半と後半は平年よりかなり多くなりました。日照時間は141.7時間（平年比100%）で平年並となりました。

東北地方の1か月予報（6/20～7/19）によると、期間の前半は冷涼な空気が流れ込みやすく、気温がかなり低くなる見込みです。向こう1か月の気温は平年並か低い見込みです。

2 生育状況（6/15現在、会津若松市）

もも、りんごの果実は平年よりも大きくなっていますが（表2）、満開後日数で比較すると平年並です。なお、りんごでは昨年よりも結実割合が低いため、着果量に注意が必要です。

表2 各樹種の果実肥大状況（6月15日調査、暦日比較、平年は1986～2025年の平均）

樹種	りんご		もも	
品種	ふじ		あかつき	
調査地点	会津若松市 北会津町		会津若松市 神指町	
	縦径	横径	縦径	横径
果実径 (mm)	41	40	48	45
平年比 (%)	125	126	107	112

3 今後の栽培管理

どの樹種も、梅雨期は特に病気に感染しやすい時期です。
→以下の4つのポイントを抑えて徹底防除しましょう。

- ① 薬剤防除は10日以上間隔を空けないでください。
- ② 晴れ間を見て、降雨前に散布しましょう。
- ③ SSはできるだけゆっくり走り、適正量を散布しましょう。
- ④ 夏季せん定を実施し、薬剤の通りを良くしましょう。

梅雨期で特に注意が必要な病害虫

- ・カキ落葉病
- ・モモせん孔細菌病
- ・リンゴ褐斑病
- ・ブドウ晩腐病 など

(1) りんご

ア 仕上げ摘果

果実肥大を促進し、翌年の隔年結果を防止するため、表3を参考に、満開後60日（6月23日頃）までに行います。仕上げ摘果の遅れは花芽分化率低下の原因となるので、遅れている場合は早めに行いましょう。また、結実の少ない園地では着果数の確保を優先し、最小限度の摘果を行いましょう。

表3 仕上げ摘果の基準

品 種	仕上げ摘果の目安	必要葉枚数
あかね、つがる、紅玉など	3頂芽に1果	1果あたり45枚
ふじ、陽光、ジョナゴールド 王林、さんさなど	4頂芽に1果	1果あたり60枚

イ 新梢管理

主枝や亜主枝及び側枝の基部付近に発生した徒長枝を中心に間引き、日当たりを確保するとともに薬剤の通りを良くしましょう。

ウ 病虫害防除

薬剤のかからない箇所がないよう散布時は留意するとともに、必要に応じて夏季せん定を実施しましょう！

(2) かき

ア 摘果

2L以上の大玉果を生産するためには、摘果をしっかりと行うことが重要です。生理落果が終了する7月中～下旬に、小果、傷果、奇形果等を中心に最終着果数を目安に修正摘果を行います（表4）。

表4 結果枝ごとの摘花程度及び最終着果数の目安

新梢長	最終着果数
5cm以下	0果
5～15cm	1果
15～30cm	1果
30cm以上	1～1.5果

イ 病虫害防除

落葉病の主要感染期は6～7月で、降水量が多い年ほど発生が多くなります。降水量が多い年は、間隔を詰めて薬剤散布を実施しましょう。また、降雨前散布を心掛けましょう。

(3) もも

ア 修正摘果

会津若松市神指町のモモ「あかつき」は6月22日頃に「**硬核期**」が終了したと推定されます。硬核期が終わり、果実に肥大差が見られるようになったら、修正摘果を実施してください。

なお、双胚果(図1、2)があれば、優先的に摘果しましょう。双胚果は正常果と比べて丸みがあって大きいです。



図1 双胚果

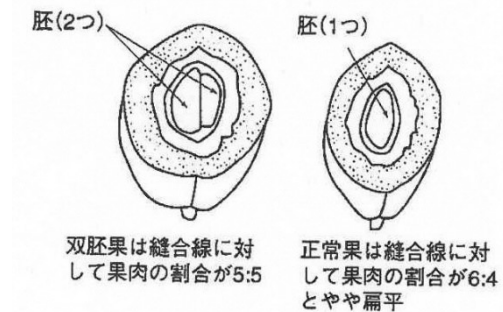


図2 双胚果(左)と正常果(右)

イ 病害虫防除

モモせん孔細菌病は**降雨で感染が広がる**ため、今後、梅雨期に感染が拡大する恐れがあります。病斑を見つけたら健全な基部まで切り戻し、園外に持ち出して適切に処分しましょう(図3)。

○病斑部(葉・果実・枝)は、確実に除去しましょう。



○摘果作業の時も常にハサミを持ち、粘り強く徹底して除去しましょう。

図3 モモせん孔細菌病の病斑

(モモせん孔細菌病対策マニュアル(改訂版)より引用)

(4) ぶどう

ア 摘粒・・・早期実施により作業効率も良く、十分な果粒肥大が期待できます！

(ア) 目的：果房の形を整えて、商品性の高い果実に仕上げる

(イ) 時期：満開後10日～20日（露地の場合、例年6月25日～7月5日頃）

(ウ) 目安：花穂長 6～7cm（手のひらサイズ）

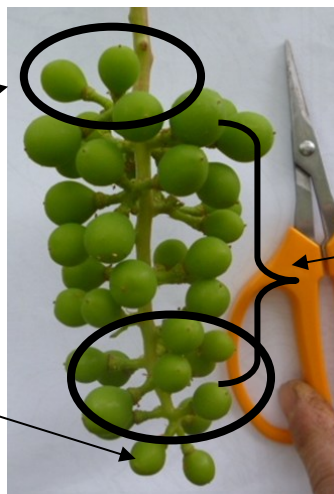
着粒数 35粒前後

収穫時房重 450g前後

(エ) 摘粒する果粒：下垂果、内向果、変形果、小粒果、サビ果

上段の支梗では4～5粒のうち、3粒は上向きの果粒を残す。

下段は房尻の形がきれいにまとまるよう果粒を残す。



中段は水平で外側に向いた果粒を残す。
下段は水平で外向きと下向きの果粒を残す。

図4 摘粒の目安（シャインマスカット）

イ 病虫害防除

梅雨期は晩腐病（図5）の重点防除期のため、①降雨前の散布、②摘粒後のカサ掛け（図6）を行いましょう。なお、果面の汚れを防ぐため、袋かけが終了するまで展着剤は加用しないでください。



図5 晩腐病の罹病果



図6 カサ掛け

○近年、農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！

○降雨により脚立が滑りやすくなります。

せん定で脚立を使用する際は、右の5つのポイントを抑えて安全対策をお願いします！

(1) 設置時に **トントン** と足を踏み込む

(2) **天板** に乗らない

(3) **開脚防止チェーン** をかける

(4) 昇降時に **物を持たない** 工夫

(5) 脚立から **身を乗り出さない**

○県内全域にツキノワグマ出没特別注意報が発令中です。

朝夕、1人で園地に行かないようにしましょう！

○令和8年度福島県農薬危害防止運動を実施中です（6/10～9/10）。

農薬使用時にはラベル表示を確認し、使用方法や注意事項を守りましょう！

